

第95回 理学療法科学学会 学術大会

日 時 : 2018 年 4 月 15 日(日) 10:00 ~ 16:00
会 場 : 埼玉医科大学 かわごえクリニック(埼玉県川越市脇田本町21-7)
大会長 : 藤田博暁(埼玉医科大学保健医療学部理学療法学科)
テーマ : 「臨床実習における評価を考える—総括的評価から形成的評価へ—」

開催趣旨:

我が国に理学療法士が誕生してから半世紀を過ぎ、養成校は平成 29 年度現在で学校総数 263 校となっております。養成校における学生教育については、学内教育とともに臨床実習教育が行われ、なかでも臨床実習教育については重要な位置づけを占めると考えます。しかし、臨床実習教育においては旧態依然の考え方や、評価方法が行われていると考えています。一方で臨床実習については学生への肉体的・精神的負担が大きく、卒業後の学生にとって決してよい思い出となっていないとも聞いています。座学や演習が中心であった学内教育から、リアルな臨床が行われる臨床実習において、学生にとってとても負担が大きいのはなぜなのでしょう。一つの要因としては臨床実習における評価方法にあると考えます。教育における評価方法には「総括的評価」と「形成的評価」などに大別され、その学習方法によって評価方法を選択するべきであるといわれています。一定期間の指導の最後に、学習の成果を総合的・全体的に評価するのは「総括的評価」であり、学内における授業において活用されています。一方で、「形成的評価」は、学習者が現段階でどの程度教育目標を達成できているかを見る方法であり、指導方法や教材などを改善できるという利点があるといわれています。臨床実習の学習過程のなかで、日々の課題や到達段階を確認し、さらに到達段階を指導者と学習者との間で共有し、学習活動の目標、内容、方法の適否や次の目標についても確認する方法が「形成的評価」であるといわれています。しかし、臨床実習における評価方法は「総括的評価」が漫然として行われており、実習におけるハラスメントの一旦伴っていると考えます。

本学会のテーマは「臨床実習における評価を考える—総括的評価から形成的評価へ—」とし、臨床実習における評価方法を議論するとともに、形成的評価について埼玉医科大学における取組みを紹介させていただきます。

今回の企画では本学会の会員以外にも広くご参加を頂き、首都圏の養成校の教員の先生方に対する参加を促すことから、学会参加費を無料として企画させていただきます。この機会に、臨床実習教育における「形成的評価」の有用性について理解していただければと思います。

研究発表についても例年通り募集を致します。なお、研究テーマについては、とくに教育に限定することはございません。広いテーマとしてお考え頂き、数多くの応募をお待ちしております。

よろしく願いいたします。

2018 年 1 月吉日

第 95 回理学療法科学学会大会長 藤田博暁

プログラム案:

10:00-10:30 臨床実習における評価はどのように行われるのか

—総括的評価と形成的評価とは—

藤田 博暁先生

10:35-11:45 形成的評価方法としての「実習目標共有シート(チェックリスト)」

埼玉医科大学保健医療学部理学療法学科

高倉 保幸先生

一般演題

口頭発表 : 15 演題

発表形式 : 口述(発表 7 分、討議 5 分)

(口頭発表はMicrosoft PowerPoint によるPC プレゼンテーションのみ)

応募要領 : 演題名、演者の所属、氏名を含んだ抄録原稿をMicrosoft Word で作製し、
下記の宛先にe-mail にてファイルを添付して送付して下さい。

※ メール件名を「第88回理学療法科学学会学術大会演題」として下さい。

抄録原稿 : A4 用紙1 枚(約1200 字)、上下左右マージン30mm、40 文字、45 行(1 段組)、MS 明朝11 ポイ
ントで作成して下さい。タイトル、所属、氏名は上5 行以内、本文は6 行目からとして下さい。

締 切 : 2018 年 3 月24 日(土)まで

参加費 : 会員・会員外、学生ともに無料(評価方法の周知のため)

大会事務局:

〒350-0496 埼玉県入間郡毛呂山町川角 981

埼玉医科大学保健医療学部理学療法学科

丸谷康平電話:049-295-1001(代表) e-mail: kohey.maruya@gmail.com